

TLPT実施手引書の発刊について

「金融機関等におけるTLPT実施にあたっての手引書」発刊（PDF版：2019年9月）

手引書作成の背景

- ✓ デジタイゼーションの進展とサイバー攻撃の脅威の高まり
- ✓ 国際的なサイバーセキュリティ強化策の潮流
- ✓ 金融機関毎に幅のあるサイバーセキュリティの対策や管理態勢



サイバーレジリエンスの強化には、**人、対応プロセス、システム**を総合的に実施・評価するためのテストフレームワークが必要

主な論点と検討結果の整理

対象金融機関：全金融機関が対象

対象システム：金融機関が自ら持つシステムの外、共同センター、クラウドも対象に含む

実施する環境：本番環境で実施、かつ事前の情報開示なしがベストプラクティス

コスト、人材、スケジュール等の制約により部分的実施となる場合の方策の例

- ・ 対象システムまたは業務の限定
- ・ 参加者の限定
- ・ 汎用的な脅威ベースのシナリオを利用

プロバイダー選定：幅広いスキルと経験、そして高い倫理性を備えたチーム構成が望まれる

TLPT: Threat-Led Penetration Testing（脅威ベースのペネトレーションテスト）